

# 八丈島

## 水産だより

4月号  
2021年



三原山頂の風景



八形山フリージア畑

年度が切り替わり、4月から心機一転、環境が変化するという方も多いのではないのでしょうか。八丈島でも、4月は仕事の都合などで島にやってくる人が多く、新たに島での生活をスタートさせます。そんな人々を待ち受けるのが、色鮮やかなフリージア畑です。八丈島空港の近くにある八形山フリージア畑では、春になると、約35万本のフリージアを一面に咲かせて、来島する人々を明るく出迎えます。

### ■ 最近の漁模様

先月までは、時化で出漁できない日が続きましたが、徐々に天候が回復し、出漁できる日が増えました。ひき縄漁では、キハダやカツオ、底釣漁では、キンメダイなどが主に漁獲されているようです。また、3月で漁期の区切りを迎えたクロマグロ漁は、昨期に引き続いて、好調な結果となっています。多くの人に親しまれている魚であるため、来期の漁獲にも期待しましょう！



← キハダ



→キンメダイ

### ■ 魚の漢字、読めますか？

鰹  
(カツオ)



今では鰹のたたきやお刺身など、生で食べる習慣がありますが、昔は、保存食として干したものを食べていたそうです。

お寿司屋さんで魚の漢字がぎっしりと書かれた湯呑みを見たことがある人も多いかと思いますが、皆さんはその漢字を読めますか？魚の漢字が読めない時は、その成り立ちを考えてみましょう。例えば、カツオは干物にすると堅くなることから「堅魚」と呼ばれていたため、転じて「鰹」と書くようになったと言われています。このように魚の漢字は、その魚の特徴を表すことが多いため、成り立ちを調べると詳しくなれるかもしれません！